

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

②施設・事業所情報

名称：プレスクールあおぼ	種別：認可保育所
代表者氏名：羽柴典子	定員（利用人数）： 43名（41名）
所在地：〒227-0062 横浜市青葉区青葉台1-18-13	
TEL：045-981-0080	
ホームページ： https://preschool-aoba.com/	

【施設・事業所の概要】

開設年月日 2012年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 特定非営利活動法人 プレスクールあおぼ		
職員数	常勤職員： 11名	非常勤職員： 8名
専門職員	保育士 16名	栄養士 1名
	調理師 2名	
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	保育室5室、事務室1室、医務室1室、給食室1室、職員休憩室、予備室	<ul style="list-style-type: none"> 園内敷地内建物保育室は平屋づくりとなっており、子どもが自由に行き来しやすいように設計されています。 門扉は暗証番号テンキー方式を実施しており、ドアホンカメラにて来客を確認します。 園庭には砂場や水道が設置され、どろんこ遊びや夏場はプールや水遊びが存分にできます。 土や草花に触れ合えるスペースとコンクリートスペースがあり、三輪車やキックスクーター等でも遊ぶことができます。 門扉から園舎迄が緩い坂道になっているのでコンビカーやボール転がしが楽しめます。 園内一部廊下の壁は、温かなヨーロッパレンガを使用し、天井から光が入り明るいです。

プレスクールあおぼは、東急田園都市線青葉台駅から6分ほど歩いた緑豊かな住宅街の中にあります。近くには自然豊かな公園が複数あり、子どもたちの散歩コースとなっています。プレスクールあおぼは、2012年（平成24年）4月に、特定非営利活動法人プレスクールあおぼによって設立されました。園舎は平屋造りで日当たりが良く、明るいです。2歳児は同じ敷地内の別棟を用いています。日当たりがよい園庭には砂場があり、夏には子どもたちがプール遊びを楽しんでいます。片隅では、子どもたちが季節の花や野菜を育てています。定員は、43人（産休明け～5歳児）、開園時間は、平日（月曜日～金曜日）は7時～20時、土曜日は7時～18時30分です。

③理念・基本方針

保育理念

『育ち合いの保育』

安全で安心な環境の中で一人ひとりが人間として丸ごと尊重される体験を通して豊かな感情を育み、ちがいを受け入れながら互いに必要とし合う『育ち合いの保育』を大切に育む。

保育目標

丈夫な身体・やさしい心・グローバルな人づくり

- あそびと仕事の好きな子ども
- 丈夫な身体とたくましい活動力を持った子ども
- 友だちと協力し、励まし合っていける子ども
- 自分の考えを素直に伝えられる子ども
- ものごとをしっかりと見つめよく考える子ども
- 美しいもの、すぐれたものに感動できる子ども

◎家庭と手を携え、子どもの成長を共に喜び合える保育をします。お子さんだけでなく、保護者の皆さん、働く職員、皆が互いに大切にされることを意識した保育を常に心掛けています。

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・生きることは食べる事、誰かと一緒に『おいしいね』と思わず笑顔になれる食育。旬の食材に触れる 育てる収穫する クッキングの工程を大切にしています。特に年中長の学年では、広い畑で育つ野菜に直接触れる・収穫体験 田植え、稲刈り体験 園内では『粃』から芽出し稲の成長を間近に感じる経験もあります。
- ・年長『おもてなしカフェ』では、今まで積み重ねてきた食育経験を活かし、収穫したお米、味噌づくり体験で完成した味噌を使って子ども達が自らお父さん、お母さんへの感謝の気持ちを伝えるために心のこもったおにぎり、味噌汁、香の物を料理しておもてなしをします。
- ・お天気の良い日は毎日いろいろな公園に出かけ、地域の方との出会いを大切に全身でのびのびとあそぶこと五感を使って四季を感じる体験を大切にしています。
- ・地域ボランティアさんが子どもたちに寄り添ってあたたかいかかわりを大切にしています。絵本読み聞かせボランティア『りぷりんと』さんも入っています。
- ・夏の暑い日は、各年齢に合わせてプールや水遊び、泥んこ遊びを存分に楽しんでいます。
- ・3歳、4歳、5歳は週に1回、専門の体操講師による運動遊び体験があり、友だちと一緒に体を動かすことを楽しめるよう園外・園内カリキュラムがあります。
- ・異年齢であそぶことも多く、小さい子を思いやる優しい心大きい子への憧れ、信頼の気持ちが子ども達の中で受け継がれ、きょうだいのように互いを大切にしています。
- ・園内研修充実にも力を入れ、消防による救命講習（職員対象と保護者対象）をはじめ、保育士が自ら必要研修を検討し、企画実施を行っています。
- ・年1回程度外部からのお楽しみ『移動水族館カメのピーちゃん』『打楽器演奏あしあと』等、心に響く体験を行っています。
- ・子ども達の様子や行事等の写真については、いろいろなご事情の方が利用していることから園での写真販売は現在実施していません。許可を得ているお子さんについては園内での掲示及びホームページブログ掲載を行っています。また、各クラス担任が1年間撮りためた写真を毎年1人1冊ずつ手作りアルバムを作成して各ご家庭にプレゼントしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年6月20日(契約日)～2024年3月14日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回(2018年度)

⑥総評

◆特長や今後期待される点

【特長】

●保育士は一人ひとりの子どもの人権を大切に、連携して保育しています

園は、保育理念に「育ち合いの保育」を掲げ、子ども一人ひとりが人間として丸ごと尊重される体験を積み重ねられるように保育しています。年度末の全体会議で説明するとともに、日々の振り返りやケース検討など様々な場面で確認し、職員への周知を図っています。保育士は、子どもに寄り添い、子どもの言葉や表情などに優しく応じ、子どもが自分の思いを素直に表せるように働きかけています。園では、「子どもが甘えたい時にいつでも甘えさせてあげる」ことを大切にしている、幼児であってもスキンシップをたくさん取り、子どもとの信頼関係が築けるようにしています。

「やれるのにやりたくない」「やれるのにやってほしい」「やってみたいけど踏み出せない」などの子どもの行動の背景にある思いを丁寧に汲み取って温かく受け入れ、一人ひとりに合わせた前向きな言葉掛けをすることで、子どもが満たされ自分から踏み出せるように支援しています。保育士は、子ども一人ひとりの個性を丸ごと受け入れ、分け隔てなく接していて、このような保育士の姿勢を見て、子どもたちはお互いの違いを受け入れ、ともに成長しています。全保育士が全園児のことを共有し、さりげなくフォローしたり、声掛けしたりする姿があり、職員に理念が浸透していることを確認することができました。

●子どもたちは主体的に園生活を楽しみ、成長しています

保育室には、子どもの年齢に合わせた玩具が子どもの目線に合わせて用意されていて、子どもが自由に選んで遊びを広げられるように環境構成されています。廃材やテープなどの素材も豊富に用意されていて、子どもが思い描くものを自由に作れるようにしています。保育士は、子どもの気持ちの動きを見逃さないように努め、子どもがやってみたいものや興味があるものを準備し、子どもの思いを活動につなげられるようにしています。幼児は、自分たちで話し合っ、夏祭りのテーマを考え、図鑑で調べ、材料をそろえて皆で協力してお神輿を作り上げるなどしています。異年齢の関わりも多く、散歩に一緒に出かけたり、幼児が練習中の劇や歌、廃材で作った作品を乳児に披露するなど、日常的に交流しています。訪問調査時にも、通りかかった幼児が乳児の靴をさりげなく直してあげる姿を見ることができ、お互いに学びあっている姿を確認することができました。晴れていれば毎日、近隣の散歩に出かけ、思いっきり身体を動かしたり、季節の自然に触れたりしています。幼児は外部講師による体操教室も経験しています。地域住民との交流も多く、地域の公園での焼き芋大会に参加したり、5歳児は地域の農家の協力を得て、田植え、稲刈りの経験もしています。このように、子どもたちは主体的に園生活を楽しんでいます。

【今後に期待される点】

●企画中的子育て支援の取り組みを実践し、園の専門性を地域に還元していくことが期待されます

保育園の増設や3歳児からの幼稚園移行の傾向があるなど、園を取り巻く環境は厳しくなっています。こうした環境において園の良さを地域にアピールしていくことも今後重要な課題となってきます。園では、地域自治会に属し、地域との良好な関係作りに努めています。地域の子育て支援として、一時保育を実施したり、「プレまつり」や移動水族館等の園の行事に地域住民を招待するなどしています。園では、公園での紙芝居やパネルシアターを実施するなど、親子が参加しやすい企画をしていきたいと考えています。地域の親子に園の存在を知ってもらうことは、入園希望者を増やしていくことにつながり経営面でも大切です。計画中の企画を実施し、園の良さを地域にさらにアピールしていくことが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

プレスクールあおばは認可保育所としてはめずらしい小規模園になりますが、日頃から保育理念である『育ち合いの保育』を大切に同じ方向性を向いて職員一人ひとりが、その思いを大切にお子さんの心身の健康と成長を保護者の方と一緒に育んでいることを高く評価していただいたことは職員のモチベーションと大きな自信に繋がっております。また、異年齢の関わりについても訪問実地調査の時に、小さい子が靴を上手く履けずに苦戦しているとたまたま通りがかった年長児がやさしく手伝う姿や一緒に手を繋いで散歩に行く様子等、異年齢のきょうだいのような思いやりのある関係性を見ていただくことができたことも保育士たちから喜びの声がありました。

今後の課題の一つである地域に向けた活動及びプレスクールあおばの活動内容をより多くの方に知っていただくための繋がりを広めていきたいと思っております。

今回の第三者評価では、保護者（利用者アンケート）の回収率が100%という保護者の皆様の園への関心、日頃からの園への協力意識の高さ、そして職員へのたくさんのねぎらいのお言葉をいただきましたこと心より感謝申し上げます。また、今回のアンケート結果を基に今後のICT化等について十分に検討していきたいと思っております。

市民セクターよこはまの皆様

人の関わりを大切にしていくことが私たちの仕事ですが、その頑張りを丁寧にご理解、分析をされ、心あたりのアドバイスをありがとうございました。

プレスクールあおば

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり